

## 「公開型事務事業外部評価」とその結果を受けた市の方針

事業No.1	市役所土日窓口開庁事業
評価結果	③市が実施・改善が必要（ア：事業内容を見直すべきである。）
評価員からの主な意見	(1) 昼休み時間の業務実施を検討できないか。 (2) ワンストップサービスの導入によるサービスの効率化を図ってはどうか。 (3) 臨時職員賃金の圧縮を検討できないか。 (4) 土・日どちらかを閉庁とし、コスト面からの代替として、平日夜間開庁の実施を検討してはどうか。
市の方針	評価員からの主な意見を踏まえ、改善に向けた調査研究を行い、市民ニーズにあった窓口開庁業務を実施していく。

事業No.2	生活保護法外援護事業
評価結果	②市が実施・現状維持（現行の内容を継続すべきである。）
評価員からの主な意見	(1) 実績がない事業は必要性がないのではないか。 (2) 就労支援等のより一層の充実を望む。 (3) 学童服や体操服などはリサイクルで対応できないか。 (4) 福祉サービスはなるべく後退させてほしくない。 (5) 認定審査時のチェックをより厳しくし、認定後は現状維持を望む。 (6) 適用後のフォローが必要である。
市の方針	生活保護世帯に対する市全体の支援等の洗い出しを行い、改善点について検証していくこととする。 また、その過程で外部評価にかけ意見を求めていく必要が生じた場合は、再度付議していく。

事業No.3	高齢者住宅の管理運営事業
評価結果	③：市が実施・改善が必要（ア：事業内容を見直すべきである。） ⑥：廃止（ア：実施する妥当性がない）
評価員からの主な意見	(1) 貸す側、借りる側とも対象者が少なく不公平さがある。 (2) 見直す時期にきており、介護保険などの別の受け皿で民間住宅の空き部屋を有効利用し、対応する考えはないか。 (3) 退去時のリフォーム費用は市負担にすべきでない。 (4) 入居基準に格差を付けていく必要がある。 (5) 市の借上げ料を下げよう家主に交渉してはどうか。 (6) コストがかかりすぎている。
市の方針	高齢者住宅については、ケア付き民間高齢者住宅を市の高齢者住宅として活用できるか、また、民間の賃貸住宅経営者及び入居者と市の高齢者住宅の家主及び入居者との経済的負担の格差など、課題となっている点について、基礎的な調査研究を行い、スクラップアンドビルドの視点で改善に向けて取り組んでいく。

事業No.4	学童クラブの管理運営事業
評価結果	②：市が実施・現状維持（現行の内容を継続すべきである。）
評価員からの主な意見	(1) サービス向上のため、午後7時まで延長し、充実してほしい。 (2) 時間延長はしない方が親には育児をしっかりと見てほしいし、子どもにとっても良いと思う。 (3) 民間委託の場合、メリットが少ないのではないか。 (4) 指導員の報酬が少なく、資質の向上は難しいのではないか。 (5) 民間委託より直営の方が学校との連携もあり、安心感があると思う。
市の方針	外部評価では現状維持との意見もあったが、充実していくべきとの意見もあった。 保護者からは時間延長を求める要望もあるため、学童保育サービスを充実していく観点から、平成25年度から学童クラブの時間延長を行っていく。 なお、その間においても保護者の意見を調査分析し、適宜、調整等を行っていく。

<b>事業No.5</b>	<b>産業福祉センターの管理運営事業</b>
<b>評価結果</b>	③：市が実施・改善が必要（ア：事業内容を見直すべきである。）
<b>評価員からの主な意見</b>	(1)利用率を高めるためのPRをすべきである。 (2)パソコン室もあまり活用されていないようなので、学習室として貸してはどうか。 (3)利用の範囲を緩和・拡大し、利用しやすい施設にすべきである。 (4)産業福祉センターとゆとろぎの利用予約システムを統合できないか。 (5)民間委託運営は考えられないか。 (6)子ども達も使えるように開放してほしい。
<b>市の方針</b>	使用目的が条例に規定されている点や、施設の老朽化への対応などの課題があるが、現在の運用内容を継続していく中で、空いている時間帯や産業と地域住民との連携に取り組み、子ども達も利用できるような教育的な要素も含めた検討を行っていく。

<b>事業No.6</b>	<b>住民票等自動交付機の運用事業</b>
<b>評価結果</b>	③：市が実施・改善が必要（ア：事業内容を見直すべきである。）
<b>評価員からの主な意見</b>	(1)設置場所、稼動時間を検討すべきである。 (2)駅前に設置することはできないか。 (3)庁舎1階の交付機は窓口と同じ時間であり、妥当なのか。 (4)市民カードの普及率を上げる工夫をする必要がある。 (5)コンビニ交付などの新しい方向性を検討すべきである。 (6)利用料の差別化を検討できないか。
<b>市の方針</b>	自動交付機については、リース期間が終了する平成26年まで現行どおり継続していくこととし、その間、自動交付機に代わる市民サービスとして、コンビニ交付の利便性やコスト面での調査研究を行い、その具現化策を多角的に検討していく。

<b>事業No.7</b>	<b>羽村遊遊カード（プリペイドカード）事業</b>
<b>評価結果</b>	⑥：廃止（ア：実施する妥当性がない。）
<b>評価員からの主な意見</b>	(1)券売機の機能を維持できないのなら廃止すべきである。 (2)現行方式に代わる回数券やチャージなど新たな方法を検討すべきである。 (3)割引のある現在の事業内容の精神は生かしてほしい。 (4)窓口で利用券を販売するなどの方法も検討してはどうか。 (5)カード作成にコストがかかりすぎている。 (6)プリペイドカードは時代にそぐわない。
<b>市の方針</b>	券売機の維持管理が困難なことを踏まえ、10%のプレミアムを付加した回数券等の発券に切り替え、本事業は廃止とする。 なお、プリペイドカードの残数処理への対応については、利用者にも不利益が生じないように交換により対応していく。

<b>事業No.8</b>	<b>地域健康づくり事業</b>
<b>評価結果</b>	③：市が実施・改善が必要（ア：事業内容を見直すべきである。）
<b>評価員からの主な意見</b>	(1)働き盛りの方の参加を上げるには、内容の工夫や実施会場の変更など、改善が必要である。 (2)健康づくりのための良い事業であるので、30～40歳代が興味を持つような事業を企画してほしい。 (3)成果指標があいまいなので、数値や内容を具体的にするなど改善が必要である。 (4)行政主導型だけでなく、地域で進めていくことが重要である。 (5)より一層の充実を望む。
<b>市の方針</b>	市民の健康の保持増進のための地域健康づくり事業について、各年齢層に対し具体的に分かりやすい事業紹介を図るとともに、内容についても効果が上がるメニューを検討し、健康とスポーツの所管部署が連携して取り組み、より一層充実していく。

事業No.9	道路、公園の維持管理事業
評価結果	③：市が実施・改善が必要（ア：事業内容を見直すべきである。）
評価員からの主な意見	<p>(1)都市基盤を整備、維持していくため必要な事業である。</p> <p>(2)ストックマネジメントの観点が必要である。</p> <p>(3)年度間の経費変動が大きいので、長期的な視点に立った維持管理を試算することが必要である。</p> <p>(4)歳入確保として、ネーミングライツの活用を検討してはどうか。</p> <p>(5)公園のトイレがきれい、職員の作業も丁寧であるので、この管理状況は維持してもらいたい。</p>
市の方針	<p>現在の事業内容について、効率的な維持管理を進める必要性は評価結果からも出ており、効率的に予算執行していく観点からも維持管理計画を策定していく重要性は高い。</p> <p>このことから、所管部署の提案どおり、平成24年度に道路の維持管理計画を、平成25年度に公園の維持管理計画を策定し、適正な維持管理に努めていく。</p>

事業No.10	ファミリー・サポート・センター事業
評価結果	①市が実施・充実（より一層の充実を図るべきである。）
評価員からの主な意見	<p>(1)利用者が減少しており、他のサービスも創設され、魅力がなくなっているのではないか。</p> <p>(2)一時保育、休日保育などのサービスとのすみ分けが必要である。</p> <p>(3)より多くの人に広め、支援する人、される人のマッチングを効果的に行い、事業を充実していくべきである。</p> <p>(4)良い制度であるので、より広くPRを行い、利用率向上に努めるべきである。</p> <p>(5)子育てを地域ぐるみで行っていく事業理念に共感する。</p>
市の方針	<p>評価結果にもあるように、この事業の必要性は重要視されている。今後はより多くの市民に役立つよう、利用・協力会員数の増加に向けたPRに努めるとともに、費用対効果をよく検証しながら、内容の充実を図っていく。</p>